

集会「東北アジアの平和と日朝国交正常化～制裁をやめ対話を」 の呼びかけと賛同のお願い

日を追って暖かさを加えております。

昨2007年、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の核開発をめぐる6カ国協議は、2月13日に初期段階、10月3日に第2段階の措置の合意と大きく動きました。また、米朝協議の進展や、7年ぶりの南北首脳会談の実現、朝鮮半島休戦体制を平和体制に転換するための当事国間論議が始まる動きなど、全体として多くの点で前進を見ました。2007年末からは韓国で南北融和よりも核問題解決強調の李明博が大統領に当選したことや、3核施設を2007年内に無能力化は実現していないなど、若干の停滞しているものの、半世紀以上つづいた朝鮮半島の民族の分断と戦争状態の解消という方向に大きな変化はなく、米国もテロ支援国家指定の解除からさらに米朝国交正常化へと進展しようとしています。

しかし、安倍前首相の下で悪化した日朝関係は、当初、対話姿勢を示すかに見えた福田首相のもとでも、一向に好転していません。6カ国協議の進展にもかかわらず、ミサイル実験や核実験を理由に開始・強化された経済制裁が、昨年10月には半年間延長され、朝鮮総連関係団体、関係者への人権抑圧も続けられています。日朝関係の改善のためにも、これ以上の経済制裁をやめさせることが必要です。また、対話と協調、東アジアの平和環境醸成の点でも、2002年ピョンヤン宣言にもとづく日朝国交正常化に向けた糸口を政府・政治家・メディア・世論のなかに切り開いていく必要があります。国会では、昨年12月に自民党外交調査会朝鮮半島問題小委員会の発足、本年2月の民主党・国民新党の朝鮮半島問題研究会議員連盟の発足、さらに公明党の議連結成などの動きがすすんでおり、変化の兆しを見せはじめています。

私たちは、下記の通り、4月2日に集会を開催し、これまで東北アジアの平和に向けて努力してきた諸団体・個人が現状認識をともにし、共同のアピールを採択し、日本政府に要望し、新たな世論形成をはかろうと計画しています。

ぜひとも、みなさまのご協力・ご賛同をお願い申し上げます。

名 称： 集会「東北アジアの平和と日朝国交正常化～制裁をやめ対話を」
日 時： 2008年4月2日(水)18:30～20:30 18:00開場 参加費：500円
会 場： 自治労会館6Fホール(第1会館) 千代田区六番町1 Tel03-3263-3739
内 容： 来賓あいさつ(政党・国会議員)／提起とリレートーク／集会アピール(政府への要請文)採択
主 催： 集会実行委員会 呼びかけ＝東北アジア連絡会
(東北アジアに非核・平和の確立を!日朝国交正常化を求める連絡会)

集会「東北アジアの平和と日朝国交正常化～制裁をやめ対話を」の趣旨に

ご賛同いただけましたら、必要事項にご記入の上、返送してください

お名前 _____ 肩書き _____

団体名 _____

連絡先住所 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

返信先 FAX:03-5289-8223 E-MAIL:peace-forum@jca.apc.org

集会の内容など最新情報は <http://www.peace-forum.com/> をご覧ください

連絡先＝フォーラム平和・人権・環境

千代田区神田駿河台3-2-11総評会館5F Tel03-5289-8222 Fax03-5289-8223